

ふくよみチャレンジ

本を読んでいますか。皆さんは、今、どんな本を読んでいますか。今までで一番よかった本は何ですか。他の人にぜひお薦（すす）めしたい本はありますか。

福島市では、多くの人に、たくさんの本を読んでもらおうと、「ふくしま読書の日（ふくよみの日：毎月24日）」を決めています。これは、学校だけでなく、家庭でも本に親しめるような取り組みです。「家読」（家での10分読書）もその一つです。

野田中学校では、昨年度から野田小学校と連携して、「ふくよみチャレンジ週間」を始めました。小学1年生から中学3年生まで、学年ごとに、読書の1日の目標時間を決めて取り組んでいます。

期間は、10月7日（土）から10月13日（金）までの7日間です。1日の目標時間は、小学1・2年生が15分、小学3・4年生が30分、小学5・6年生が45分、そして中学1～3年生が60分です。

この取り組みの特徴は、小学校と中学校とで合計目標時間が決められていることです。みんなで読書をして、目標時間を達成しようというわけです。その時間が、5000時間です。

1日にどのくらい読書をしたのか、その時間を記録用紙に記入しておき、次の日の朝にタブレット端末で記録します。すると、野田小学校と野田中学校のホームページに、小・中合計の累積（るいせき）読書時間が出るようになっています。

野田中学校では、朝の読書を行っています。凡事徹底4か条の3番目には「1冊読書 月に1冊の本を読もう」が掲（かか）げられています。朝の読書の本を家に持ち帰って読んでいる人もいるでしょう。あるいは、家では学校とは違う本を読んでいる人もいることでしょう。普段は、家でゲームをしたり、SNSなどに使ったりしている時間を減らして、読書の時間を増やしたという人もいないのでしょうか。

小学校に兄弟、姉妹がいる皆さんは、家庭で一緒に読書をしているかもしれません。家読の理想的な姿です。ここにお家の方も参加してくれれば、言うことはありません。

皆さんが、高校生までの間に、どのくらいの読書ができるかは、その後の人生に大きく影響してきます。「読書は、心の栄養」と言われます。毎日、少しずつ本を読んできたことが、じわじわと効（き）いてきます。そして、それは確かな力となります。人生の中でも、特に、中学生と高校生のうちに本を読むことが重要です。

ぜひ、今回の「ふくよみチャレンジ週間」をきっかけとして、あなたの読書人生をさらに充実したものにしていきませんか。